

「東北地方太平洋沖地震」に対するJICAの取り組みについて

01

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震につきまして、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

JICAは被災地の一日も早い復興を願い、3月22日現在、以下のような取り組みを行っています。

●福島県からの要請に基づき、福島第一・第二原子力発電所付近で避難指示の出ている地域住民の方を対象に、JICA二本松（福島県二本松市）の講堂や宿泊棟などの施設を避難所として提供しています。

●国連災害評価調整チーム(UNDAC)に対し、JICA東京(東京都渋谷区)内の活動スペース、必要機材類を提供しています。

●人工透析を必要とする被災者の方に対して、JICA東京では、宿泊先として最大100人の受け入れを実施中です。

●全国の国内拠点では、各都道府県の自治体を経由し、救援物資を送付しています。

●4月1日から開始予定の「平成23年度JICAボランティア春募集」の応募受付を当面延期します。今後の日程につきましては、決定次第あらためてお知らせいたします。

今後もJICAとして、できる限りの支援を行う予定です。最新情報は、JICAホームページ(www.jica.go.jp/)でご確認ください。

“森をつくる農法”から生まれたチョコレートが新発売

02



ミルクとビターの2種類がラインアップ

JICAが日系移住者の支援を続けるブラジル北部アマゾンにトメアス地方では、アグロフォレストリーと呼ばれる農法でカカオ豆が栽培されています。今回、このカカオを使ったチョコレート「アグロフォレストリーチョコレート」が、明治製菓株式会社から新発売されました。

アグロフォレストリーとは、Agriculture(農業)とForestry(林業)を組み合わせる言葉で、森をつくりながら農作する方法。収穫期が異なるコシヨウやカカオ、パッションフルーツなどの熱帯果樹とマホガニーやブラジルナッツなどの樹木を混植することで、農業と森林の保護・再生の両立を可能にします。さらに、単一栽培より耐病性が高く、環境に優しい有機農法であるという特徴があります。

この農法はトメアスの日系移住者が試行錯誤しながら確立したものです。パッションフルーツといった作物を、JICAの支援で設立された加工工場でジュースなどの製品にし、国内外に出荷できたこともアグロフォレストリーの推進に役立ちました。

明治製菓では、トメアス産カカオを使用することでこの農法の普及による森林保全を支援したいと、チョコレートの商品化。多くの消費者の目に留まり、環境保護への関心を高められればとの思いも込められています。

知花くららさん スリランカ訪問報告会

03



スリランカについて語る知花さんとジョンKさん

2月26日、JICA地球ひろば(東京・広尾)で「知花くららさんとかしなきや！トークイベント」が開催されました。このイベントは、昨年8月に「なんとかしなきや！プロジェクト」の一環でスリランカを訪ねた知花さんが、現地で見たと感じたことを一般市民に伝える場として企画されたもの。当日は約260人が来場し、知花さんの話に熱心に耳を傾けました。

WFP国連世界食糧計画のオフィシャルサポーターでもある知花さんは、今回、紛争のつめ跡が残る北部地域を訪問。日本が無償資金協力で建設したマナー橋を実際に歩いて渡り、「この一本の橋は、人々の生活に役立っているだけでなく、国の平和を願い一筋の光を放っているようにも感じた」と話しました。また、青年海外協力隊の活動視察で訪れた障害者施設から届いたビデオレターが会場のスクリーンで流されると、「また来てくださいな」という現地の人々のメッセージに涙ぐむ場面もありました。

「スリランカの光と影を皆さんにも知ってもらいたい」と知花さん。「100やらずでも1でもいいんです。50でも1でもいいんです。0より何か行動することが大切なんだと思います」と力強く語りました。MCを務めたジョンKさんも「知花さんの存在を通じて、これからも国際協力で興味を持ち続けてほしい」と訴えました。

「よこはま国際フォーラム2011」が開催

04



JICA横浜のセミナーは参加者で満席に

2月11・12日にJICA横浜(神奈川県横浜市)で、よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム(通称「よこはまCプラットフォーム」)主催で「よこはま国際フォーラム2011」が開催されました。横浜を拠点に国際協力や国際交流に取り組む団体の活動報告のほか、開発途上国の現状を体感できるワークショップなど39のセミナーが行われ、1300人(2日間の講座参加延べ人数)を超える来場者で賑わいました。

JICA横浜が実施したセミナーは、フェアトレードと平和構築がテーマ。アフリカなどで行っている一村一品運動やカンボジアでの地雷除去活動など、JICAの事業について紹介しました。立ち見が出るほどの盛況ぶり、来場者から「国際協力で携わっている人の生の声が聞けてよかったです」という感想も聞かれました。

よこはまCプラットフォームではこのフォーラムのほかに、世界の料理、音楽、パフォーマンスを通じて国際協力や国際交流を学ぶ「よこはま国際フェスタ2010」も2010年10月に開催。JICA横浜は、今年度もこの二つのイベントに参加する予定です。